

平成21年度 クリスマス会

当院第1リハビリテーション室で12月19日、「クリスマス会」が開かれ、当院に入院されている患者様とご家族様約50人が参加されました。看護学生による花笠音頭、病院スタッフによる仮装すもう大会、患者様による合唱など多彩なプログラムが催されました。また、最後のプログラムでは、患者様・ご家族様・当院スタッフによる「もちつき」があり、大いに盛り上がりました。



クリスマス会に参加した
職員の家族様(小学校2年生)より
感想をいただきました。

一日

2時からお母さんがしごとをしているびょういんのクリスマスパーティーに行きました。

いつもは、かんじゃさんを見ているかんごしさんやリハビリの先生たちがいろんなかっこうをしておどったりせんたくばさみを体につけてすもうがしていました。

ほくは、おなががよじれるくらいおもしろかったです。

そしてさいごにもちつきをしました。

もちつきは、ほくらがつけてさいしょに味がしました。つぎにちっちゃい子がしてそのつぎにほくがしました。

小っちゃいきねと大きいきねがありました。ほくは、大きいきねにしました。

まだ米つぶがいっぱいありました。

ほくがついてちよつとつぶがみえにくくなりました。

大きいきねは、ちよつとおもかったです。

それからたくさんのかんじゃさんも楽しそうにもちつきをしていました。

みんながついたもちはかがみもちになりました。

だけど、とくべつにほくと味だけおもちをくれました。

ほくは、びょういんって入いんしてちゅうしゃしたり薬をのんだりしてびょう気をなおす所だと思っていただけとみんな楽しんですごしていっぱいわらつてもびょう気がなおる気がしました。

すてきなパーティーでした。



とても可愛らしい感想でした。クリスマス会を行なってこのような感想をもらい、行なってよかったと思います。職員一同励みになりますありがとうございます。今後もこのような会を通して皆様に元気になってもらえるよう頑張っていきたいと思います。

(レクレーション委員)



「病治りて医師忘れる」ことなかれ!

くすし

今年の言葉に「新」が決まりました。個人的には「難」と思っていたのですが、政権交代も行われ、あらゆるものが時代とマッチしなくなってきており、新たに改革し見直さなければならない時期に来ていると思います。

新たに物事を変えるには勇気があることです。今まで培われてきたものが否定されたり、無になったりすることがプライドを傷つけるため、なかなか改善できないのもその理由の一つといえるでしょう。

変えなければならないときは、必ず人生のうち一つはあります。病に倒れた場合、身内や友人が病気で亡くなったりする場合や、転居や仕事を変えざるを得ないときなど、己を振り返って初めて自分の生活習慣が悪かったと反省する機会が与えられ、軌道を修正し歩まねばなりません。

一方「のど元過ぎれば熱さを忘れる」ように症状がとれ、自覚症状なければ食べ過ぎたり、飲み過ぎたりする方も多く見受けられます。また忙しいためか「薬だけ飲んでりゃいい」と家族の者に薬を取りに行ってもらう人も見受けられます。身体が「資本」ですから、車の車検のように定期的に点検、補修しなければなりません。来たる年に向かって、「新たに」で気を引き締めて行こうではありませんか。 内科 林 達信



見極めが大切



インフルエンザとかぜ(普通感冒)のちがい

	インフルエンザ	かぜ
初発症状	発熱・頭痛・悪寒	鼻咽頭の乾燥感およびくしゃみ
主な症状	発熱・筋痛・関節痛	鼻汁・鼻閉
悪寒	高度	通常強くない
熱及び熱型(期間)	38~40度(3~4日間)	38度前後まで
倦怠感	高度	軽い
鼻汁・鼻閉	後期より著しい	初期より著しい
咽頭	充血およびときに扁桃腫張	細菌の二次感染
病原	インフルエンザウイルスA・B	ライノウイルス・アデノウイルス他
迅速診断法	あり	一部のウイルスであり

ちがいはいろいろありますが、重いかぜと軽いインフルエンザを見分ける事は難しいとされています。(薬剤部 常國)